

# さつきやま魂

父母と教師の会 総会終了！  
部活動振興会

四月二十六日、父母と教師の会及び部活動振興会の総会が開催されました。お忙しい中、多数の保護者の皆様に御参会いただきありがとうございます。一部修正等がありましたが、ほとんどの議案が原案どおり可決されました。その中で、どちらの規約についても、一部改正がなされています。詳しくは、総会資料をご覧ください。  
なお、今年度の新役員は次のとおりです。

- 〈父母と教師の会（敬称略）〉
- ◎会長 熊川兼之
  - ◎副会長 平道俊之、大里久昭
  - ◎監事 長谷川英樹、道脇義隆
  - ◎母親委員会委員 山口清美
  - ◎広報部長 未定（次回決定）
  - ◎研修部長 山本寿美代
  - ◎部活動振興会（敬称略）
  - ◎会長 大里久昭
  - ◎副会長 ソフトテニス部長

今年度の総会もですが、昨年度までのPTA出席率は、100%に近い状況と聞きました。学校と家庭が連携して子ども達を育てていることを改めて実感することができました。PTAですが、部活動も含めて、遠慮なく子ども達の様子を見て来ていただくと幸いです。

崎山中学校だより  
5月13日 第3号  
文責 校長 山下



## 学校支援会議から

四月十九日、学校支援会議が行われ、学校経営方針や子ども達の状況等について、貴重な意見をいただきました。主な内容を紹介します。

- ・「さつきやま魂」を小中連携で実践してから子ども達がのびのびしている。
- ・学校生活だけでなく、家庭生活の中で「さつきやま魂」を取り扱い、家庭生活の中で生かされるのが大事ではないか。
- ・挨拶は、地域での挨拶も含めてよくなっている。
- ・第三日曜日は家庭の日というところで、部活動も休みになるが、手伝い等、何か家のためにできることをするように学校からも指導してほしい。
- ・崎中の研究は、素晴らしい実践なので、保護者や地域住民にぜひ見てもらいたい。

## お願い

中には、保護者や地域の協力が必要な内容もあります。特に、月に一度の家庭の日は貴重な一日になると思いますが、手伝い等も含めて、家族の時間をどのように活用するか、ぜひ親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 読み聞かせ始まる！

五月九日、令和元年度初めての読み聞かせが行われました。今回は三年生が担当しましたが、連休前から練習し、当日は小学生を相手に堂々と読み聞かせができました。この活動が始まったのは平成二十年度です。当時関わった者としては、十年以上続いており、



崎中の伝統となっていることを嬉しく思いました。小学生は楽しみにしているようですが、中学生にとっても、表現力が高まるなどの効果が見られます。

## 給食準備ばっちり？

今月は、一年生が給食当番をしています。四校時終了から10分以内に準備することが目標ですが、なかなか目標達成ができませんでした。

準備を始めて五日目、給食準備の時間は、「9分33秒です。」とこからか、「やったー。」の声。「やればできる。」が証明された瞬間でした。果たして今日は…。



## いよいよ中総体

五月二十六日には、市中総体が開催されます。三年生にとっては、三年間の部活動の集大成となります。各競技の試合会場と試合開始時刻は次のとおりです。ぎばれ、崎中！

- バスケットボール競技 富江中学校体育館 8時30分
- ソフトテニス競技 中央公園テニス場 8時45分
- 剣道競技 福江武道館剣道場 9時00分
- 柔道競技 福江武道館柔道場 9時45分

## 【中総体の思い出2】

中総体を間近に控え、よく生徒に言っていたことを思い出す。「中総体では何が起るかわからない。同じ中学生の場合、3対7までの力の差であれば逆転は可能だ。」これは、私の古い経験から言ったことだ。新任2校目の学校で女子バレー部の顧問をしていた時、練習試合を通して一度も負けたことのない相手に、中総体で負けたことがある。1セットを楽に取り、2セット目の途中から一人の選手を替えたところ、流れが変わり、選手を元に戻しても、流れを止めることができずに負けたのである。中総体が他の大会とは全く違うと感じた瞬間であった。それ以来、どんなにリードしていても、「勝った。」と思つことはなくなつたし、力の差があつても、「勝てる。」と思つようになった。